

農林漁業現地情報（一般情報）

大豆の事例

3 農業新技術の開発・普及等

ＪＡ能美ラック低温倉庫「手取川のめぐみ」が完成

〔石川・能美地域〕

- 「食の安全・安心」を前提とした食糧調製施設を新設 -

佐伯郡能美町のＪＡ能美では、能美郡寺井町粟生地内に米流通合理化施設及び大豆乾燥調製施設「ラック低温倉庫」が平成15年3月20日に完成した。

同施設は、農林水産省の経営構造対策事業（総事業費約4億1,600万円）を利用して建設したもので、施設規模は鉄骨2階建てで、米集・出荷施設は床面積1,500㎡、収容能力は1t用フレキシブルコンテナが2,000個、大豆調製施設は170tの調製能力を持っている。

米は、品種や生産者ごとに分別保管ができ、倉庫内に設置されたラックで、コンピュータ管理により取り出しが自由に行うことができる。

地域に親しんでもらうため、ネーミングは一般公募を行い、「手取川のめぐみ」と名付けた。6月7～8日に開催された春の総合展示会には施設を公開し、多くの同ＪＡ組合員に見学してもらった。

同ＪＡでは、「隣に受益面積240ha規模のライスセンターを16年3月に建設を予定しており、管理を一体化し、『産地の顔が見える』販売を展開して、消費者の視点に立った安全・安心な食糧供給を徹底させ、地域に貢献できる施設としたい」としている。

連絡先：能美郡寺井町粟生ヨ1番地

ＪＡ能美（電）0761-57-3505